

# ☆☆☆ Library Eye 2020 ☆☆☆

第3号 2020. 6. 1 (月)

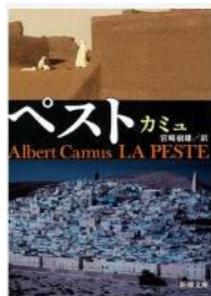
発行元 明星中学校・高等学校 図書館



## 【本から学ぶ 人類 vs 感染症との闘い】

フランスの作家・カミュが1947年に発表した小説『ペスト』が、新型コロナ禍の現代で注目を集めています。ペストで封鎖された街を舞台に、ペスト菌という見えない敵と闘う医師や友人らを通して、伝染病の恐ろしさや不条理に直面した人間の様々な行動を描いたものです。図書館にも蔵書(かなり古い)がありましたが、今回新たに購入しました。また、日本の小説でも、新型コロナの混乱を予言していると話題の高嶋哲夫さん『首都感染』もあります。

小説以外にも、テレビでお馴染みになった岡田晴恵さんの著書群など、“感染症に負けない、おすすめ本”を集めたコーナーを開設しましたので、人類 vs 感染症との闘いを本からひもといってみてははいかがでしょうか。



《感染症に負けない、おすすめ本リスト》

書名	著者名	所在	請求記号
ウイルスと感染症(ニュートン別冊)		自然	493/ウ
正しく怖がる感染症(ちくまプリマー新書)	岡田 晴恵	新書	493.8/オ
怖くて眠れなくなる感染症	岡田 晴恵	自然	493.8/オ
感染症キャラクター図鑑	岡田 晴恵	自然	493.8/カ
疫病と世界史 - 上(中公文庫)	ウィリアム・H. マクニール	文庫	493.8/マ/1
疫病と世界史 - 下(中公文庫)	ウィリアム・H. マクニール	文庫	493.8/マ/2
感染症とたたかう(岩波新書 新赤版)	岡田 晴恵	図書館前	493.87/オ
ウイルスにもガンにも野菜スープの力	前田 浩	自然	498.5/マ
感染症の近代史(日本史リブレット)	内海 孝	図書館前	498.6/ウ/96
どうする!?新型コロナ(岩波ブックレット)	岡田 晴恵	図書館前	498.6/オ
感染症と文明(岩波新書 新赤版)	山本 太郎	新書	498.6/ヤ
感染症と文明: 共生への道(岩波新書)	山本 太郎	新書	498.6/ヤ
首都感染(講談社文庫)	高嶋 哲夫	文庫	913.6/タ
ペスト(新潮文庫)	カミュ	文庫	953/カ
われ反抗す、ゆえにわれら在り: カミュ『ペスト』を読む	宮田 光雄	図書館前	953/ミ



## 【蔵書点検～閉館中の図書館のお仕事♪】

図書館では毎年、長期休館日を利用して蔵書点検を行っています。お店でいうところの棚卸作業で、蔵書目録にあたる「図書原簿」に記載された本があるべき場所にきちんとあるかどうか、1冊ずつ突き合わせしていきます。この作業により劣化本や紛失本などの発見ができ、より良い図書館環境を提供することに繋がります。本校図書館の蔵書数は約10万冊ですので、作業に数週間かかります。通常は一番長い休暇の夏休みの間に行っていますが、本年度は有事のため、この図書館閉館期間を利用して、現在 開館に向けて粛々と作業を進めております。皆さんが在校中に1冊でも多くの本に出会えます様に、また、皆さんの笑顔に再会できる日を励みに、図書館スタッフ一同 心から楽しみに待っています。

## 【図書館と私～超難関大学に合格した受験生は、このように図書館を活用した!～】

今年、偏差値70を越える東京医科歯科大学歯学部歯学科に進学した山中結理さんが、後輩へ向けて、メッセージを送ってくれました。今回は、その一部をご紹介します。

☆受験勉強を意識して図書館を利用したのは、1学期は朝の7時30分から、2学期になると朝も放課後も利用していました。図書館は、とにかく集中して勉強できますし、わからない問題があったときでも、受験用の参考書がたくさん置いてあるので、それを使って勉強していました。その結果、参考書でヒントを得ながら自力で解くというチカラがつかえました。また、参考書の種類も多いので、様々な解法を知ることができました。赤本も、自由に何十ページでもコピーすることができ、とても感謝しています。

☆高校生になってから、図書館に置いてある本や新聞を読んだり活用したりする機会が増えました。推薦入試の準備として、『文藝春秋オピニオン20××年の論点100』や、小論文の参考書、自分の進路とは一見関係がなさそうな分野に関する本も、知識や思索の幅を広げるために読みました。学習面に於いては、物理、化学、生物の参考書もほとんどすべて読みました。最も活用したのが新聞です。受験期も新聞はずっと読んでいました。私は医療系の大学に進みたいと思っていましたので、特に医療に関する記事が載っているところを特に丁寧に読み、これは面白いと思うような記事があったら切り抜いてファイルにまとめていました。これは、中1の頃から高3まで続けてきていたので、日本の医療が6年間でどう変化し、どのようなメリット、デメリットが生じたのか、すべて理解していました。あとは「声」というページが好きでした。それは、現在の医療や政治について人々がどう感じているかが書かれているページです。社会問題1つ取ってみても、医者、患者、家族の視点や考え方は、大きく異なります。そうした内容が、この「声」というページには凝縮して載っています。そのため、読むたびに、違う立場から物事を考えるチカラがつかえました。

☆まだ受験生としての意識を持っていなくても、自分の可能性を広げるためにも、今、明星の図書館を利用して、たくさんジャンルの本を読んでみてください。

### 【山中さんのオススメ本ベスト10】

- 『チーズはどこへきえた?』  
(この本は厚さがとても薄い本なのですが、今まで読んだ中で一番考えさせられました。30分で読み終えて、2時間以上考えさせられた本です。この本が一番好きです。)
- 『proof of heaven』 脳神経外科医が見た死後の世界
- 『82年生まれ、キム・ジョン』
- 『wonder(ワンダー)』
- 『道は開ける』
- 『猫を抱いて象と泳ぐ』  
(小説を挙げていなかったのですが、あげてみました。私は「猫を抱いて象と泳ぐ」以外にも小川洋子さんの本がとても好きです)
- 『哲学用語図鑑』  
(特に、受験で公民が必要な人には、是非読んでほしいです。昔の偉人達の考えが、分かりやすく、全部絵になって描いてあります。面白いだけでなく、公民の知識を素早く覚えるのにも、とても役立ちます。)
- 『ギリシアローマ神話』
- 『英検の過去問』  
(本ではないかもしれませんが、英検の問題は英語のスキルを上げるだけでなく、文章としてもとても面白いです。しかも過去問は図書館に大量にあるので、自分に合ったレベルの文章を毎日少しずつ読むことができます。)
- 『システム英単語』



※メッセージの全文は、生徒向けにクラッシーで配信予定です。